

行事報告書(自遊会)

報告者: 花島

作成日 2024年(令和6年)4月3日

行事名	神戸下水道の歩み館in東灘処理場とアーモンドの花を求めて
実施日時	2024年(令和6年)3月29日(金曜日) 9時45分～13時 天候:晴
行先・場所	神戸市東灘処理場
主旨(行程)	阪神・魚崎 9:45・徒歩・10:30から90分神戸下水道の歩み館(パネル・見学)・アーモンドの花を見ながら昼食・徒歩・阪神魚崎 14:00
参加者名・人数	加藤・服部・金山・清野・須崎・都出・宮中・石崎・花島 計 9名

下水処理場の施設は最先端の施設(国の補助あり)で神戸市最大の処理場。処理から生まれたリン(貴重な資源)・ガス発電等SDGSに即した環境対策等を実際に履行。国からの指定技術保存に補助金あり。分流式の下水処理で、海を汚すことなく処理水の有効活用・自動車燃料化事業・都市ガス導管注入事業・等汚泥の有効活用が図られている。担当者により丁寧なる説明と構内での設備の案内と見学を実施。神戸市の低酸素・循環型の街づくりを見ることができました。

処理場は運河の両岸に広がっており、運河沿いにはアーモンドの並木。(アーモンドの花は丁度満開から散りかけの時期であった。)(加藤)

微生物の活躍が下水処理には欠かせない存在、その力の大きさと、それを利用する人間の知恵に驚きました。先進的な下水処理事業の展開、今後の循環型社会インフラとして、良い見学会が出来、感謝でした。アーモンドの花の美しさ、良かったです。

持ち帰ったアーモンドの実を庭に植えました、芽を出してくれるのを楽しみにしています(清野)

